
流血の終止符

嘉音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

流血の終止符

【Nコード】

N1370F

【作者名】

嘉音

【あらすじ】

この小説は、佐藤刑事と高木刑事の恋。それから佐藤刑事と由美の友情&絆を描いた小説です。最後には感動する結末が！？是非ご覧下さい。

FILE0：誘拐（前書き）

佐藤刑事が主人公です。

FILE 0：誘拐

ある、天気の良い日の昼下がりに。

警視庁捜査一課の佐藤美和子警部補は、数日前に烏矢町で起きた殺人事件の報告書を書いていた。

「こんなに天気が良いのに1日中、報告書を書いていなくちゃいけないなんて」

そう、独り言をしていると背後から声がした。

「まあまあ、これでも飲んで頑張ってくださいよ!」

そう言って、美和子にコーヒーを渡した。

「あら、高木くん。聞き込みはもう終わったの!?!」

同僚で恋人でもある、高木渉に美和子は訊いた。

「ええ、案外はやく終わりました。」

「良かったわね!」

そうこう、話をしていると美和子の携帯が鳴った。

「プルルル♪プルルル♪」

「はい、佐藤」

「佐藤さんですか？千葉です」

「あっ千葉君?!どうかしたの?」

「それが・・・今、世田谷署にいるんですけどさっき電話があつてそのおー言いにくいんですけど・・・由美さんを誘拐したと電話があつたんです・・・」

「ええ!!!! 由美を誘拐!?! 犯人側からの要求は?」

「いえ、まだ何も。」

「わかったわ!今、私もそっちに行くから。目暮警部や白鳥君も一緒にしょ!? 高木君、連れて行くわ!」

「わかりました。」

「20分ほどでそっちに行けると思うから!」

それだけ言うと、美和子は一方的に電話を切ってしまった。

「佐藤さん、由美さんが誘拐って・・・」

「高木君! 世田谷署に行くわよ」

「は、はい!」

走り出そうとしたその時。

美和子が床にすわりこんでしまった。

「佐藤さん！大丈夫ですか！？」

「ちょっと、めまいがただけよ！私は大丈夫だから早く行きましよう。」

数十分後

「目暮警部！！で、犯人側の動きは？」

「おお、佐藤君！大丈夫かね！？」

「私は大丈夫です！それより」

「まだ、誘拐したとしか電話はきておらんよ・・・」

「そうですか・・・。」

「佐藤さん、とりあえず落ち着いて下さい。」

高木が、美和子にそう言った。

「ええ、そうね。」

「白鳥君、捜査本部の設置は？」

恰幅の良い声で目暮が訊ねた。

「はい、本庁になりました。そちらの方が会議室も広いですし。」

「もう設置されとるのかね？」

「はい、もう大丈夫かと思えます。」

「よし、捜査本部に行くぞ!!」

「はっ!!!!」

警視庁第1会議室

ここで、「婦警誘拐事件」の捜査会議が行われる。

「これより、婦警誘拐事件の捜査会議を始める。」

そう言ったのは、小田切警視長である。

「事件直前までの被害者の足取りは？」

美和子が起立して答えた。

「はい、被害者の宮本由美は事件前日の夜、私と一緒に食事をしていました。それから、深夜2時頃それぞれ家に帰宅しました。」

「では、事件前日の夜は佐藤と一緒にいたのだな？」

「はい。」

美和子は、涙目でそう答えた。

「何か変わった様子はなかったか？」

「いいえ、何も・・・」

今にも泣き出してしまいそうな位な顔で答えた。
そして着席した。

「美和子さん、心配しなくてもすぐに犯人は捕まりますから大丈夫ですよ。」

そう言って、白鳥は美和子にハンカチを手渡した。

「ゴメン。ありがとう・・・」

「被害者が誘拐されたときの目撃情報などはあったか？」

今度は千葉と白鳥が起立して答えた。

「はい、深夜2時半頃に車に押し込まれている女性が居たという目撃情報がありました。おそらく、被害者かと思われます。」

「佐藤さんと食事をした居酒屋からもそう遠くはないし、時間からみても、おそらく・・・」

「よし、2人はそのまま聞き込みを続けてくれ！」

「わかりました。」

白鳥と千葉は着席した。

そうこうして、捜査会議は1時間ほどで終了した。

FILE0：誘拐（後書き）

どうも！嘉音ですwwww

小説書くの初めてで、文章が変なところもあるかもしれませんが、頑張って連載していくのでよろしくお願いします。

とりあえず1話描き終わりましたけど、小説って結構むずかしいですね（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1370f/>

流血の終止符

2010年10月21日22時12分発行